

## 平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		ファミリー・サポート・センター運営					所管	区民部 子ども家庭支援センター			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	200	計画事業名	ファミリー・サポート・センター運営					事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成 [小 柱] (1)安心して子育てできる環境づくり [施 策] ①子どもを生み育てる世代への支援					[事業開始] 平成 1 1 年度		[終了予定] - 年度		
	根拠法令等	法令(義務)	〔法令等名〕		児童福祉法、子ども子育て支援法、台東区ファミリー・サポート・センター事業実施要綱						
	事業対象	直接の対象 : 提供会員(育児の手助けができる方)依頼会員(育児の手助けが必要な方(生後43日~小学生)) 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	会員相互の援助活動を行うことにより、仕事と育児の両立、地域の子育て支援及び児童福祉の向上を図る。									
	事業内容 [29年度]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の募集、登録その他の会員組織業務に関すること</li> <li>・育児に関する会員相互の援助活動の調整に関すること</li> <li>・会員に対する講習会、会員の交流に関すること</li> <li>・関係機関との連絡調整に関すること</li> <li>・センターの広報に関すること</li> </ul>									
	委託の有無	全部委託		委託内容		ファミリー・サポート・センター事業運営					
補助金の有無	国・都										
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度			
	活動指標	説明会開催数		回	24	23	24	28	24	116.7%	
		アドバイザー配置数		人	4	4	4	4	4	100.0%	
	成果指標	会員数		人	3,700	3,154	3,370	3,543	3,200	110.7%	
		活動件数		件	9,639	7,350	8,613	7,717	8,292	93.1%	
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				17,517	18,597		16,442		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				802	1,784		2,514		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				17,517	18,597		16,443		
		総経費				0	0		0		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				18,319	20,381		18,957			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0		0			
	一般財源(区負担額)				11,678	12,398		10,960			
前回評価から29年度に改善した事項	活動場所として区の児童関連施設が利用できることを周知するため、会員向けに利用可能施設の見学会を行った。提供会員と依頼会員を兼ねる両方会員登録推進のため、CATVで番組制作し、放映したことなどにより両方会員数の増加に繋がった。										
評価の視点	評価		評価の理由								
	必要性	4	依頼会員数は増加し続けており、子育ての負担を軽減するサービスのニーズは高まっている。地域社会全体で支援するサービスの必要性は高い。								
	効率性	3	社会福祉法人への委託事業としており、また国庫補助金や都補助金も活用し、効率的な運営を行っている。								
	手段の適切性	3	委託先の法人は、他の会員制事業でも成果を上げており、そのノウハウを活かして円滑な事業運営ができていた。また、区のCATV番組などを活用して広く周知活動を行い会員登録の推進を行った。								
	目的達成度	3	会員数は年々増加しており、会員同士の助け合いによる子育て世帯の負担軽減という目的は果たされている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。							今後の方向性				
本事業は、地域の協力を得て子育て家庭の育児負担の軽減を図るとい、区民の力で子育て支援を実践できる事業である。年々会員数も増加し、円滑な事業運営ができていたため今後も継続して実施していく。							維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		